

スマホ使用による自動車運転事故を防ぐために

交差点で信号を待っていると、ポケットからスマホを出してチェックしている人をよく見かけます。24時間スマホなしの生活に我慢できなければ、程度の差はあれスマホ依存症です。交差点でスマホの通知音に反応していた人の一部は、車の運転中に通知音がしたら無意識にスマホに視線を移すことはあるでしょう。時速40kmでは1秒間前を見なければ自動車は約10m走ります。自転車スマホや歩きスマホとは比較できなくらい危険です。

自動車運転中のスマホ操作がみつかれば、重い交通違反になります。その抑止力でスマホ運転がなくなるでしょうか？残念ながら依存症の人に対しては、それほど効果を期待できません。

日々報道される悲惨な自動車事故のニュースの原因である前方不注意は、スマホ運転によるものかはなかなか判定できません。私は最近自転車走行中に車に追突されました。相手の車が私の自転車に衝突してすぐには停止しなかつたので、スマホをみていたのかと思いました。しかし、事故を担当した警察官は精査しないで、前方不注意として事故処理を行いました。警察官は決められたことしか調べません。医学研究のように現場で疑問についての精査・分析はないのです。

2024年現在では多くの車にドライブレコーダーが装着されています。交通事故連続100例を音声を含めたドライブレコーダー結果から分析すれば、スマホ運転の関与が想像より多いかどうかというデータを得ることができます。

私は、依存症の人に対するスマホ運転をさせないためには、車とスマホ会社の両方からの強制機能の設定が必要であると思います。強制機能を設定しても、以下のような抜け穴を作らないことです。運転中のテレビ鑑賞は危険という認識で、20年前の新車では運転中にテレビをみられない強制機能がついていました。しかし、新車購入時に純正でないナビに変更すると運転中でもテレビがみらみられるようになっていました。

私が思いつくことは、車会社ではドライバーの視点が前方からはずれたらすぐに警告音をだすようにすることであり、車内の電話はブルーツース経由でする規則を、スマホ会社には、スマホが上下左右の動きを感じたらスマホの画面はみられない機能を開発することです。

自動車スマホ運転をやめさせるためにというタイトルで、公開で討論すればもっといいアイデアができるかもしれません。こういう議論がなされていない現在、医療団体として、このような運動を国会議員に働きかけませんか？

2024.7.27

伊賀幹二

伊賀内科・循環器科